



秋田市主崎「ポートタワーセリオン」(道の駅あきた港)が社明協調月間の7月にシンボルカラーイエロー一色になりました。

秋田更生保護

第 84 号
発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援助協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

令和8年8月1日現在
保護司数 648名

目 次

巻頭言.....	1	秋田県BBS連盟.....	4
更生保護関係団体の動き.....	2	秋田保護観察所(人事異動).....	5
秋田県更生保護援助協会.....	2	転入者のあいさつ.....	5
秋田県保護司会連合会.....	3	第76回 社会を明るくする運動.....	6~7
秋田至仁会.....	4	栄誉に輝く叙勲・褒章.....	8
秋田県更生保護女性連盟.....	4	保護司の異動.....	8
秋田県就労支援事業者機構.....	4	編集後記.....	8

更生保護関係者の皆様には、日頃から、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に向け、献身的に御尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

「社会を明るくする運動」は、全ての国民が犯罪・非行の防止と更生について理解を深め、力を合わせて安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

我が国の更生保護活動は国際的に高く評価されている一方、国内の認知度は必ずしも高くないのが現状です。そのため、今年の運動では、「保護司をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらう」を統一テーマに掲げ、こどもたちを対象にした作文コンテストや関係機関によるイベントを開催するほか、広報誌、SNSなど様々な媒体を活用した広報活動を展開することとしており、更生保護ボランティアに関する活動を身近に感じていただくことで、新たな担い手の確保にもつながりたいと考えております。



第76回“社会を明るくする運動”

実施にあたり

“社会を明るくする運動” 秋田県推進委員会委員長

秋田県知事 鈴木 健太

また、保護司の減少や高齢化、安全確保が喫緊の課題となる中、昨年12月に保護司法が改正され、地方公共団体による保護司活動への協力が努力義務化されました。県としても、法改正の趣旨を踏まえ、皆様が安全・安心に活動できる面接場所の確保など、地域全体で活動を支える基盤整備を進めてまいります。

さらに県では、罪を犯した人が地域で生きづらさを感じることなく暮らすことができるよう、「秋田県地域生活定着支援センター」や「再犯防止相談支援窓口」において、一人ひとりに寄り添い、必要に応じて適切な福祉サービスへとつなぐなど、支援の充実に努めてまいりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

結びに、この運動の趣旨が社会全体に広がり、誰もが暮らしやすい安全・安心な地域社会づくりの一助となることを願うとともに、更生保護に携わる皆様の益々の御活躍と御健勝を祈念して、私からの言葉とさせていただきます。

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

★理事会・協議員会開催

ホテルメトロポリタン秋田において、3月18日及び4月16日に理事会を開催しました。3月18日は令和8年度事業計画・収支予算書・理事監事の選任・就業規則について、4月16日は令和7年度事業成績・収支決算について審議され、いずれも全会一致で承認されました。

また、3月13日及び4月24日に評議員会が開催され、開催され、いづれの議案も承認されました。



理事会(3月18日)



真鍋理事による講話
(4月16日)

修会を行い、真鍋悟理事から「家族代行支援制度」と題しましてご講話頂きました。

令和8年度事業計画書(抄)

・運営に関する事項

財政基盤の一層の安定化に向けて、基本財産を適切に管理することに加えて、篤志寄付者の確保(法務大臣感謝状授与対象の拡充をはかるため、寄付者へ助言を行う。)と賛助会員の拡充を積極的に推進するほか、役職員相互の意思疎通を図り、組織運営への関与をより強化する。

★役員の紹介

(令和8年4月1日)

理事長 加賀谷 文 秋(再任)
副理事長 村岡 兼 幸(再任)
副理事長 沢木 則 明(再任)
常務理事 田口 昭 一(再任)

★役員の異動

(令和8年4月1日)

【監事】

三浦 秋(新任)
鈴木 重一(辞任)

篤志者寄付金の御芳名

令和8年1月以降にご寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚くお礼申し上げます。

一金 三十万円

秋田銀行様

一金 二十万円

加賀谷文秋様
沢木 則明様
小畑 悟様
齊藤 満様
布谷 博様
村岡 兼幸様
田口 昭一様
辻 良之様
小熊 良悦様
大内 睦子様

一金 十万円

八島 國雄様

*当協会運営に対しましてご寄附を戴きました皆様、また普通会员・賛助会員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。県内各地の更生保護女性会からも賛助会費をいただいております。感謝申し上げます。

尾形 和雄様
田代 苑子様
吉田 英一樣
清水 重輝様
大山 久尚様

令和7年度 秋田県更生保護援護協会収支決算 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入総額 8,074,874円 支出総額 7,387,514円

収入の部 (円)

科	目	予算額	決算額
補助金等収入		609,000	582,258
寄附金収入		4,901,000	4,300,000
財産収入		570,000	612,616
会費収入		2,500,000	2,580,000
雑収入		44,000	0
合	計	8,624,000	8,074,874

支出の部 (円)

科	目	予算額	決算額
通所・訪問型保護事業費		790,100	573,598
	事務費	131,100	127,098
	金品給与費	200,000	171,500
	就労援助費	459,000	275,000
地域連携・助成事業費		7,068,300	6,202,427
	事務費	1,158,300	1,144,635
	啓発費	840,000	724,500
	連絡調整費	920,000	823,292
	助成費	4,150,000	3,510,000
管理費		732,600	611,489
予備費		33,000	0
合	計	8,624,000	7,387,514

秋田県保護司会連合会

令和8年度事業計画書(抄)

1 基本計画

保護司の適任者確保や安全対策等が課題とされる中、「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」報告書の内容を踏まえ、「更生保護制度の充実を図るための保護司法等の一部を改正する法律」が昨年12月に成立し、公布されたことを受け、秋田保護観察所指導のもと、同報告書に示された施策の着実な実施と、同法の円滑かつ適切な施行に向け準備を進める。

あわせて、秋田県内における安全・安心な地域づくりの実現に向け、地方公共団体を始めとした関係機関・団体等との連携を強化し、更生保護及び保護司制度の認知度向上に努めるとともに、地域に根ざした「息の長い」社会復帰支援体制の構築を図る。

特に本年度は、「次世代につなげる保護司制度の確立」を基本方針として掲げ、①担い手の確保と育成、②活動環境の整備、③組織運営の持続可能性の向上を重点的に取り組む。



理事会(4月24日)



理事会(3月13日)



金山会長あいさつ

新任保護司研修

7月7日

は、長年の保護司としての思いや苦労話等、感慨深げに話しておりました。長い間ありがとうございました。いましました。



保護司退任座談会開催

6月26日

アキタパークホテルにおいて、令和8年6月30日付け、退任者に対する法務大臣感謝状伝達及び座談会を開催しました。

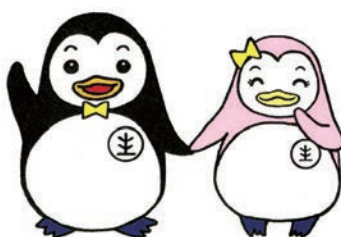
「エア着ぐるみ」

「ホグ・サラちゃん」貸し出しのお知らせ

秋田県保護司会連合会ではホグちゃんサラちゃんの着ぐるみを購入しております。

県内各地へどんな出向に行きますので、地区会、団体ご希望の際は事務局菊地までご一報ください。

7月は県内あちこちと飛び回りました。これから色んなところへ行きたいのでぜひ呼んでください。



秋田県の更生保護

<https://akita-kouseihogo.com>


ホームページ「秋田県の更生保護」の二次元コードです。

秋田県保護司会連合会

<https://www.facebook.com/akitakenhogosikai/>


フェイスブックの二次元コードです。

秋田至仁会

当施設では、令和6年度から特定補導という取り組みの一つとして、社会奉仕活動を毎月実施しています。春から秋にかけては施設周辺の道路とゴミ集積場の清掃や草取り作業、冬場の降雪時は施設構内のほか、周辺の歩道、ゴミ集積場等の除雪を行っています。当日は、仕事に就いている入所者以外は全員に参加してもらえよう周知し、毎回入所者は4～8人、職員も2～3人参加しています。

作業の際は、その日の天候や気温に配慮し、暑さや寒さ対策を万全にするとともに、道路では走行中の車両に十分に気をつけて行っています。また、作業中は参加者同士が声かけしたり、住民の方々には率先してあいさつを行っています。

除雪作業では、近隣の高齢者宅や一人暮らしで障害のある方の駐車場も行っており、社会奉仕活動での体験が、地域社会への円滑な移行に役立つものと考えています。



社会奉仕活動

秋田県更生保護女性連盟

会員数 1464名

(24地区・4月1日現在)

5月20日イ
ヤタカにて、
秋田保護観察
所長富田潤一
様はじめ、来
賓7名のご臨
席を賜り、会
員100名参加の
もと総会が開
催されました。
役員改選では、会長齊藤正子、副会長伊藤さより、岩崎通子、千葉量子がいずれも再任され、「青少年に母の愛を」をスローガンに新年度がスタートしました。また午後の研修では、伝統芸能の保存と青少年への伝承を願い、秋田県指定無形民俗文化財「二日市願人踊」を鑑賞しました。



県更女総会願人おどり(5/20)

秋田県就労支援事業者機構

令和8年度秋田県就労支援事業者機構通常総会が、5月25日ホテルメトロポリタン秋田で開催されました。総会では、伊藤会長の挨拶に続いて、来賓の富田潤一秋田保護観察所長、小畑悟顧問からご挨拶をいただきました。船山事務局長から、会員135名中105名の出席(書面表決75名)があり、総会が成立したとの報告がありました。伊藤会長が議長に就任し、議事録署名人2名を選出後、議事を進め、令和7年度の事業と会計および役員改選等の4件の議案について、承認を得ることができました。

総会終了後、秋田刑務所矯正処遇調整官の後藤康和看守長から秋田刑務所の現状についてのご講演をいただき、無事終了することができました。

ご多忙のところ、通常総会にご出席をいただき、誠にありがとうございました。

後とも、関係団体の皆様と本機構の会員の皆様からの御支援と御協力のおかげ、よろしく願います。



機構総会(5/25)

秋田県BBS連盟

★東北地方BBS連盟理事会

4月18日、宮城野区中央市民センター(宮城県仙台市)で開催され、竹中副会長が出席し、今年度の事業計画、予算等について協議しました。

★秋田県更生保護女性連盟

令和8年度総会
5月20日、パーティギヤラリーイヤタカ(秋田市)で開催され、大沢顧問が出席しました。

★特定非営利活動法人

日本BBS連盟総会
6月13、14日、更生保護会館(東京都渋谷区)で開催され、内山副会長が出席しました。

★第68回東北地方BBS大会及び
令和8年度東北管内地方別BBS
会員研修会
6月27、28日に、雫石プリンスホテル(岩手県雫石町)で開催され、東北管内のBBS会員ほか関係機関約100名が参加しました。竹中副会長ほか4名が出席しました。

★令和8度秋田県BBS連盟総会

7月11日、にぎわい交流館「AU」で開催され、会員9名が参加しました。秋田保護観察所からは富田所長のほか2名のご出席をいただきました。今年度の活動計画及び予算計画が承認されました。また、来年度の東北管内地方別BBS会員研修は秋田県が当番県となりました。

秋田保護観察所

●更生保護の「あたりまえ化」戦略について

令和7年に内閣府が更生保護に関する世論調査を実施しました。それによれば、「更生保護に携わる次の民間協力者や団体などを知っていますか」の問いに対し、保護司（を知っている。以下同じ。）66・1%、更生保護施設44・9%、保護観察官50・5%、自立準備ホーム9・0%、更生保護協会7・9%、更生保護女性会7・2%、BBS会1・7%という結果でした。一方「いずれも知らない・無回答」19・2%でした。

また「社会を明るくする運動」を知っていましたか」の問いに対しては、「趣旨まで知っていた」5・2%、「言葉は知っていたが、趣旨は知らなかった」20・9%、「知らなかった・無回答」73・9%という結果でした。

これらの結果を見ますと、更生保護に対する国民の認知度が依然として十分ではないことが分かります。更生保護が将来に向かってより良く機能していくためには、国民が更生保護をあたりまえに知っている状況を作ることが必要です。

そこで、法務省保護局では「更生保護の「あたりまえ化」戦略1・0」を策定し、令和8年度から、更生保護を分かりやすく説明するコンテンツの充実化や、様々なターゲットに対して更生保護を発信する取組を推進することといたしました。

保護司を始めとする更生保護ボランティアの皆様におかれましては、まずは、自分たちの存在と活動を、ひろく住民の方に知ってもらうことを実行していただければ幸いです。具体的には、市町村広報誌への掲載や、地域の新聞等への取材要請等が考えられます。保護観察所も皆様の取組に連携・協働してまいります。皆様にはこの戦略の趣旨を踏まえて、是非積極的な発信に努めてください。

また、皆様が個人として所属する業界団体・ボランティア団体等に対し、保護観察所自体が更生保護を発信していきますので、お気軽にお声掛けいただければ幸いです。



秋田保護観察所人事異動

● 転入 (令和8年4月1日付)

企画調整課長 荒川 将 栄
(仙台保護観察所 統括保護観察官)

● 転出 (令和8年3月31日付)

保護観察官 沢 田 雛
(東北地方更生保護委員会 事務官)

● 転出 (令和8年4月1日付)

企画調整課長 富 樫 伸 介
(福島県 首席保護観察官)

(令和8年4月17日付)

主任保護観察官 荻 原 純 子
(東北地方更生保護委員会 総務課長補佐)

● 転入者のあいさつ



企画調整課長
荒川 将 栄

本年4月1日付けで、仙台保護観察所から異動してきました荒川と申します。

出身は栃木県で、保護観察官の仕事をするようになってからは東北を回っています。秋田での勤務は初めてですが、これまでの職業人生の分岐点で、秋田県出身の方にお世話になることが多く、自分も秋田で生活することとなり、縁のようなものを感じます。浅学非才で何かと御面倒をおかけすることもあるかと思いますが、なにとぞよろしく願っています。



保護観察官
沢 田 雛

この度の人事異動により、東北地方更生保護委員会から転任して参りました沢田雛と申します。

これまでは会計業務を務めていたため、秋田県内の保護司さんへ実費弁償金等の支払手続きをしていたこともあり、勝手ながら親しみを感じておりました。そんな折、秋田県に転任ということで、初めての更生保護業務で緊張の中、少し安心感を抱いて異動したところです。

一日も早くお役に立てるよう精進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願っています。

直りを支える地域のチカラ

“社会を明るくする運動” ～速報～



社明秋田県推進委員会 5/15



秋田駅広報活動(秋田駅)

7/1



第76回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪や非行の防止と立ち直りについての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、新たな被害者も加害者も生まない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、今年で76回目を迎えました。

社会の中で犯罪や非行から立ち直る人々を支援する「更生保護」は、まさに安全・安心な社会の基盤となる取組です。この更生保護を支えているのが、「保護司」をはじめとする更生保護ボランティアであり、過去の過ちから立ち直るとする人々に寄り添い、再発を助けています。我が国の更生保護の取組は、海外でも高く評価されており、令和7年12月に採択された「再犯防止に関する国連原則」でも、推奨される取組の一例として、保護司(hogoshi)が紹介されています。しかし、国内において、その取組は必ずしも身近な存在として認識されていないのが現状です。

そこで、第76回運動では、「保護司」をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおうという統一テーマを掲げ、より一体的な運動を展開することとしました。

政府としては、本運動への賛同を示す“幸福(しあわせ)の黄色い羽根”のもと、更生保護が「あたりまえ」に知られる存在となり、立ち直りの支援の輪が更に広がるよう取り組んでいます。

国民の皆様には、ぜひ更生保護の取組や意義に関心をお寄せください。そして、安全・安心な社会の実現のため、それぞれの立場でできることに思いを馳せ、一歩踏み出してみてくださいと申します。あなたの一歩が、社会を支える力になります。

内閣総理大臣

高市早苗

矯正展(秋田刑務所)

7/5





犯罪や非行を防止し、立ち

第76回 “社会を明るく

モデル地区

秋田地区保護司会

7/1



イエローライトアップ点灯式

大館地区保護司会

7/1,4



7/1 大館駅前



7/4 青少年を非行から守る市民の集い

湯沢地区保護司会

7/10,15



7/10 雄勝小中学校での挨拶運動

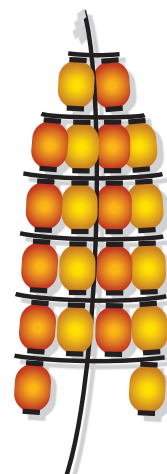
7/15 湯沢駅での広報活動
(湯沢翔北高校生徒も参加して)

セリオン花火でのコラボ 7/25



社明竿燈(秋田地区協力雇用主協会竿燈会)

8/3～8/6



毎年7月は“社会を明るくする運動”の強調月間及び再犯防止啓発月間です。



“社会を明るくする運動”
に関するお問い合わせは
お近くの保護観察所まで



法務省保護局
公式X



栄誉に輝く

叙勲・褒章

春の叙勲・褒章

(令和8年4月29日)

令和8年春の叙勲及び褒章を受けられました方々は次のとおりです。
永年のご功労・ご功績により受章されました皆様にからお祝いを申し上げます。
(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



木村 高寛
(能代保護区)

藍綬褒章

(更生保護功績)



内藤 稔
(横手保護区)

更生保護以外の功労・功績

瑞宝双光章

(調停委員功労)

大 渕 英 悦

(男鹿保護区)

瑞宝単光章

(消防功労)

山 本 順 貴

(大館保護区)

旭日双光章

(地方自治功労)

村 井 剛

(元潟上湖東保護区)

瑞宝双光章

(地方自治功労)

佐々木 宮 廣

(元大曲保護区)

保護司の異動

任期満了

(令和8年6月30日)

次の方々が保護司を退任されました。長年のご尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後のご健勝を祈念します。

柴田昌子(大館)	東海林久美子(令和8年2月28日)	山	杉澤	細井	高橋	佐々木	長谷山	阿部	高橋	石地	菊地	高橋	笹森	福岡	高田	菊沢	石川	小林	濱松	千葉	森内	牧野	篠原	藤井	村木	船木	石塚	佐藤	佐々木		
			盛衛	京一	正子	信介	清美	淳一	定寛	和守	由美子	幸良	キヌ子	洋子	憲二	貞市	忠孝	恵美子	三千雄	幸子	貞雄	正剛	博司	義子	曜子						
			(大)	(大)	(大)	(大)	(湯)	(湯)	(横)	(横)	(横)	(横)	(本)	(本)	(鹿)	(鹿)				(北)	(大)	(大)	(大)	(能)	(能)	(湯)	(湯)	(男)	(秋田)	(秋田)	(秋田)
			曲	曲	曲	曲	沢	沢	手	手	手	手	荘	荘	角	角	角	田	館	館	館	代	代	東	東	鹿	一	一	一	一	

保護区変更

(令和8年4月1日)

浅野 紀子
(秋田(中央)→潟上湖東)

新 任

(令和8年7月1日)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後のご活躍を期待します。

川邊 隼之介	越前 知佐子	進藤 義寛	鮎川 義里	佐藤 絵里	佐藤 絵里	高津 咲子	笹原 信子	甫藤 貴子	鈴木 薫子	齊藤 惠子	今野 平子	村田 泰子	井上 陽子	安藤 江利子	佐々木 徹	鈴木 清
(秋田(東))	(秋田(東))	(秋田(東))	(秋田(中央))	(秋田(中央))	(秋田(中央))	(秋田(中央))	(男鹿)	(本庄)	(横手)	(横手)	(湯沢)	(湯沢)	(湯沢)	(湯沢)	(大曲)	(大曲)

おくやみ

齋藤 昭道 (角館)
(令和8年1月17日) 享年66

菅原 みち子 (潟上湖東)
(令和8年4月4日) 享年71

長谷部 芳孝 (大館)
(令和8年6月5日) 享年74

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

太陽がまぶしい季節となりました。

さて、七月一日からポータワーセリオンにおいて、更生保護のあたりまえ化(国民の誰でも更生保護を知っている)を願い、シンボルカラーのイエローにライトアップされました。黄昏から徐々に暗黒になる中で見上げるセリオンは黄色に輝き、素晴らしく、神々しい気持ちになれる二か月間でした。



更生保護の心がしっかりと根を張り、稲穂のように黄金に実り、市民、国民に理解される事を祈ります。
編集委員 伊藤 妙子

7月28日に熊本県で発生した地震で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

編集委員

加賀谷文秋 (編集委員長)

佐々木文子 明石 浩延

伊藤 妙子 長谷部次子

馬場 英紀 高橋 毅

菊地 皆美